

和歌山大学教育学部附属小学校×ファミリーマート  
「わかやまポンチ」プロジェクト第6弾！

**ポンチJr. がこども店長体験！  
ファミリーマート店頭で  
「わかやまポンチ」を販売！！**



「わかやまポンチ」レポート  
2015年11月6日（金）

「わかやまポンチ」とは、全国わかやまポンチ協会と和歌山県が2009年から普及に取り組んできた果樹王国である和歌山県のご当地スイーツです。ファミリーマートでは「わかやまポンチプロジェクト」として、2010年6月から、和歌山大学教育学部附属小学校の4年生の児童たち「ポンチJr.」と「わかやまポンチ」の共同開発を進め、毎年オリジナル商品を発売しています。

「わかやまポンチプロジェクト」も今年で6年目を迎えました。6月から取組んだ「わかやまポンチ」の開発。試行錯誤を経ていよいよ商品化。そしてついにポンチJr.がこども店長として、ファミリーマート店頭で販売実習に臨みます！



こども店長として「わかやまポンチ」をPRした  
和歌山大学教育学部附属小学校4年A組のポンチJr.

Report

**チョコ付きビスケットを飾ったパフェ風「わかやまポンチ」完成！**

2015年6月、特別授業が和歌山大学教育附属小学校4年A組の児童を対象に行われ、コンビニデザートをつくるために大切なことや、ものづくりで注意すること（安心安全なものづくり）、「和歌山県の果樹」、「わかやまポンチ」の取り組みについて学ぶことから、2015年度「わかやまポンチプロジェクト」がスタートしました。

商品開発については、まずは個々でアイデアを出し、似たようなアイデアを出した生徒同士で6チームに分かれ、商品アイデアの提案を行いました。本番の試作コンペに向けて、保護者参観日で試食会を実施するなど、ポンチJr.にとっては緊張の連続でしたが、回数を重ねるごとにプレゼンも上達、意気込みも高まりました。最初はバラバラだったチームも、お互いの意見を取り入れていこうとする意識が芽生え、他の授業にも好影響を与えたようです。自分の県の果物を取り入れた商品を考えることで、和歌山県を知り、地元を好きになるいい機会にもなりました。ファミリーマートの商品開発チームによって、コンビニスイーツに仕立てられた「わかやまポンチ」は、試作コンペで最優秀賞に選ばれたチームのアイデアだけでなく、全チームのアイデアが少しずつ盛り込まれたものでした！実際に商品を前にして、ポンチJr.も喜んでくれたようです♪



教室の壁にはわかやまポンチ開発までの流れが写真と共に掲示されています。商品開発への意気込みが伝わってきます！



いちごミルクプリンの上に、はっさくムースとホイップクリームを絞り、みかんのシロップ漬け、黄桃、チョコ付きビスケット、梅ゼリーを飾ったパフェ風わかやまポンチ。和歌山県産の梅、はっさく、みかんを使用。

**2015年度版 わかやまポンチ**

和歌山県産 みかん、梅、はっさく使用

チョコ付きビスケット

みかん、うめゼリー、はっさくムース、いちごミルクプリン

和歌山大学 教育学部附属 小学校 共同開発

本体 249 円 (税込268円)

パッケージには、和歌山観光 PR シンボルキャラクター「わかぼん」をデザイン

パッケージには、和歌山観光 PR シンボルキャラクター「わかぼん」をデザイン

11月6日（金）、わかやまポンチの開発に携わった4年A組のポンチJr.がファミリーマートと和歌山県庁前店と和歌山ロイネット店の2店舗で、こども店長として直接販売を行いました。はじめは恥ずかしがっていた声掛けもだんだんと慣れてきて、こどもたちの元気な掛け声に、多くのお客さまが足を止めてくださいました。自分たちの商品が目の前で売れていくのは誇らしいこと！自然と笑顔がこぼれます。この体験を通して、和歌山のことがもっともっと好きになったようです。

また、こども店長を受け入れた店舗では、「こんなお菓子を置いてほしい！」「こんなのが流行ってるよ」など、こどもたちから発注のヒントをもらうことも多いそう。何より体験後にこどもたちから届く手紙は宝物。店長・スタッフのモチベーションアップにもつながっています。



ドキドキのレジ体験！いつもは入れないバックヤードにも潜入です。

### こども店長の1日



店舗ディスプレイもばっちり！  
沢山売れますように！！



「僕たちのつくったわかやまポンチいかがですか〜？」力作のポスターを持って声掛け！



お店の前に特設コーナーを設けて販売！  
行列が出来たお店もありました。



## VOICE

### 担任&栄養士の先生より



“させられる”のではなく楽しみながら自主性と積極性をもって取り組んでもらいたいと考え、できるだけ生徒中心で進めるために、最小限の手助けにとどめ、子どもの言葉やつぶやきを大切にしました。

4年A組担任 久保先生（写真左）

生徒たちは、自分たちが進学して上級生が作っていたポンチを作れるのを楽しみにしています。大学生になるなど、いつか県外に出たときに、和歌山の魅力を発信してくれたらうれしいです。

栄養士 神山先生（写真右）

### 保護者の方より

① こどもにとって大人や社会と直接関わることが嬉しいようで楽しんでますし、今年は何のクラスが「わかやまポンチ」をやれるのか決まる迄ドキドキです。

② 心を豊かにしてくれる楽しい体験をさせてくれて、学校とファミリーマートの懐の深さに感謝しています。

### 和歌山県庁の職員の方より

ファミリーマートと共同で商品化でき、県内・県外の多くの方に「わかやまポンチ」の取組を知っていただく貴重な機会になっています。一過性の流行に終わらせず、継続して和歌山県の果物のおいしさをPRしていきたいと思っています。

和歌山県食品流通課職員 西村さん

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。